

# 日 本 史

# 日 本 史

**第 1 問** 次の文章 (A～D) の空欄 [ 1 ] ～ [ 3 ] , [ 7 ] ～ [ 9 ] , [ 13 ] ～ [ 15 ] , [ 20 ] ～ [ 22 ] に適する語句を、後の〔語群〕ア～ヤのうちからそれぞれ一つずつ選べ。また下の問い (問 1～13) に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。なお、〔語群〕は第 1 問の最後の 42 ページにある。)

**A** 藤原兼家は師輔の子として生まれた。兼家は 967 年に<sup>a</sup>村上天皇が没して冷泉天皇が即位すると、天皇の秘書官長にあたる [ 1 ] に任じられた。969 年に左大臣 [ 2 ] が失脚する安和の変が起こったが、兼家はこの政変に重要な役割を果たしたと考えられている。

984 年、円融天皇が花山天皇に譲位して、娘詮子が産んだ外孫が皇太子となると、兼家は次第に権勢をほこるようになった。986 年には<sup>b</sup>策謀によって花山天皇を退位させ、外孫である一条天皇の即位を実現し、右大臣ながら摂政に就任した。その際、藤原頼忠が [ 3 ] の地位にあったため、兼家は右大臣を辞職し、 [ 3 ] ・右大臣・左大臣 (三公) の上に列すべき宣旨を獲得した。ここで<sup>c</sup>摂政・関白の朝廷における地位が確立することとなった。

**問 1** 下線部<sup>a</sup>に関連して、天曆の治と呼ばれる村上天皇の治世に行われた政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [ 4 ]

- ① 六国史の最後となる『日本三代実録』が編纂された。
- ② 本朝 (皇朝) 十二銭の最後となる乾元大宝が鑄造された。
- ③ 最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編纂された。
- ④ 延喜の荘園整理令を発し、違法な土地所有を禁じた。

**問 2** 下線部<sup>b</sup>に関連して、この策謀には清和源氏も関わったとされる。清和源氏の人物に関して述べた次の文 I・II と、それに関連する下の人物 a～d の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 [ 5 ]

- I 藤原純友の乱に際し、追討軍に参加して鎮圧に貢献した。
- II 平忠常の乱を鎮圧し、源氏の東国進出のきっかけをつくった。

a 源経基      b 源満仲      c 源頼信      d 源義家

- ① I - a    II - c      ② I - a    II - d
- ③ I - b    II - c      ④ I - b    II - d

問3 下線部㉔に関連して、摂政・関白の地位が確立する過程の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 関白の任命をめぐって宇多天皇と藤原基経が対立し、阿衡の紛議が起こった。
- Ⅱ 清和天皇の即位にともない、藤原良房が実質的に摂政になった。
- Ⅲ 嵯峨太上天皇の死去がきっかけとなり、橘逸勢らが謀反の疑いで処罰された。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

B 足利義教は1394年、室町幕府の④3代将軍足利義満の子として生まれ、はじめ青蓮院に入って天台座主をつとめた。1428年、兄□7□が後継者を定めずに死去したため、石清水八幡宮でのくじ引きにより足利将軍家の家督を継ぎ、翌1429年、征夷大将軍に任じられた。

対外面では1432年、中断していた⑤日明貿易を再開し、幕府財政の強化につとめた。国内では、将軍の権力強化をはかるため、□8□に就任する畠山氏など有力守護家の家督相続に介入するとともに、⑥旧仏教の有力寺院に対する統制にも力を入れた。こうした専制政治は反発も強く、その結果、1441年に足利義教は□9□国などの守護赤松満祐によって謀殺された。

問4 下線部④に関して、足利義満が将軍在職中に行った政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。□10□

- ① 足利基氏を鎌倉公方に任じ、東国の支配をまかせた。
- ② 京都の室町に、花の御所とも呼ばれる壮麗な邸宅を築いた。
- ③ 明徳の乱で山名氏清らをほろぼし、山名氏の勢力を削減した。
- ④ 南北朝の合体を実現させ、後亀山天皇に対して後小松天皇に譲位させた。

問5 下線部⑤に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。□11□

- Ⅰ 貿易船は、明が交付する勘合を所持することが義務づけられていた。
- Ⅱ 明から日本へは、銅銭のほか、高級織物や陶磁器、硫黄などが輸入された。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問6 下線部⑥に関連して、旧仏教の有力寺院の一つである延暦寺に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

□12□

- Ⅰ 延暦寺の僧兵らが京都の日蓮宗寺院を焼き払い、法華一揆を解体させた。
- Ⅱ 延暦寺の僧兵が本願寺を襲撃したため、蓮如は京都から逃れ、越前吉崎に坊舎を構えた。
- Ⅲ 延暦寺の僧兵が強訴を頻発させ、白河法皇は自らの意のままにならないと嘆いた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

C 水野忠邦は肥前唐津藩主水野忠光の子として生まれ、1812年、藩主の地位を継いだ。唐津藩は幕府が直轄する唯一の貿易港だった[13]の警固の任務を課されていた。忠邦は⑧領地の変更を幕府に働きかけ、その結果、1817年に遠江浜松藩主となった。忠邦は同時に寺社奉行に就き、その後、大坂城代、朝廷の監視・統制を担う[14]などを経て、1834年に老中に就任した。

1841年に大御所[15]が死去すると、忠邦は12代将軍徳川家慶のもとで⑨幕政改革を開始した。しかし、1843年に発令した⑩上知令は、同僚の老中を含む譜代大名や旗本からの反対にあって実施できず、老中を罷免された。その後、⑪対外問題の紛糾などを理由として、1844年に老中に再任されたが、まもなく辞職した。

問7 下線部⑧の「領地の変更」の一般的な呼称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [16]

- ① 改易      ② 減封      ③ 転封      ④ 恩賞

問8 下線部⑨に関連して、この幕政改革のなかで実施された政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [17]

- ① 商人・職人の株仲間を広く公認し、運上や冥加の増収をめざした。  
② 人返しの法を出し、江戸に流入した貧民の帰郷を強制した。  
③ 長崎の砲術家高島秋帆に命じ、西洋砲術の演習を行わせた。  
④ 人情本の『春色梅児誉美』を書いた作家為永春水を処罰した。

問9 下線部①に関連して、次の史料は上知令の一部である。この史料の内容に関して述べた下の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 18

御料所（注1）の内薄地（注2）多く、御収納免合（注3）相劣り、……（中略）……当時御料所より私領（注4）の方高免の土地多く之有り候もの、不都合の儀と存じ奉り候。……（中略）……此度江戸大坂最寄御取締りとして上知（注5）仰せ付けられ候。右領分、其の余の飛地の領分ニも高免の場所も之有り、御沙汰次第差上ケ、代知（注6）の処如何様ニも苦しからず候得共、三ツ五分より宜敷場所ニてハ、折角上知相願候詮も之無く候間、御定の通り三ツ五分ニ過ぎざる土地下され候得ば、有難く安心仕るべく候。

（注1）御料所：幕府の直轄地のこと。

（注2）薄地：やせた土地のこと。

（注3）収納免合：年貢課税率のこと。

（注4）私領：大名や旗本の領地を指す。

（注5）上知：領地を返上すること。

（注6）代知：代わりに与えられる知行のこと。

Ⅰ 幕府は、大名・旗本領のほうが年貢課税率が高いのは不都合であると考えていた。

Ⅱ 幕府は、領地を返上する大名や旗本に対して代わりの領地を支給しないと通告した。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問10 下線部①に関連して、12代将軍徳川家慶の治世下における対外問題などについて述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19

a アヘン戦争が起こり、清国がイギリスに敗北した。

b アロー戦争が起こり、清国がイギリス・フランスに敗北した。

c ロシア皇帝が使節ラクスマンを派遣し、幕府に通商を求めた。

d オランダ国王が親書を送り、幕府に開国を勧告した。

① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

D 浜口雄幸は、1870年に高知県で生まれた。大蔵省で官僚をつとめた後、1913年、<sup>Ⓚ</sup>桂太郎首相が結成を企図した立憲同志会に参加した。1915年には $\square$ 20内閣のもと、衆議院議員総選挙に立候補して当選した。1924年、加藤高明内閣が成立すると、浜口は大蔵大臣に就任し、<sup>①</sup>第1次若槻礼次郎内閣でも当初大蔵大臣をつとめ、のちに内務大臣に転じた。1927年に立憲民政党が結成されると初代総裁に就任し、翌年、初めての普通選挙では田中義一内閣の与党 $\square$ 21と伯仲する議席を確保した。

1929年、浜口は首相に就任して立憲民政党内閣を組織した。内政では緊縮政策を進める一方、<sup>Ⓜ</sup>社会政策を進め、労働組合法の制定に取り組んだ。外交では、 $\square$ 22外相を中心として協調外交を進めた。しかし、ロンドン海軍軍縮条約の締結をめぐる批判を受け、1930年11月に東京駅で狙撃され、それがもとで翌年に死去した。

問11 下線部<sup>Ⓚ</sup>に関して、桂太郎首相が政党結成を企図したのは第一次護憲運動の高まりに対抗してのことであった。第一次護憲運動に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 $\square$ 23

- Ⅰ 第一次護憲運動では、「閥族打破・憲政擁護」の主張が掲げられた。  
Ⅱ 桂太郎内閣は、護憲運動の高まりに応じて軍部大臣現役武官制を改正した。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤  
③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問12 下線部<sup>①</sup>の内閣の時には金融恐慌が発生した。金融恐慌に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 $\square$ 24

- a 関東大震災の発生にともない、取付け騒ぎが生じた。  
b 震災手形の処理の不手際から、取付け騒ぎが生じた。  
c 鈴木商店の倒産にともなう台湾銀行の経営危機で、恐慌が拡大した。  
d 鈴木商店の倒産にともなう三井銀行の経営危機で、恐慌が拡大した。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問 13 下線部㊸に関連して、明治末期から昭和戦後期にかけての社会政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 25

- Ⅰ 労働基準法を制定し、週 48 時間労働など、労働条件の最低基準を定めた。
- Ⅱ 工場法を制定し、12 歳未満の就労や女性の深夜業などを禁止した。
- Ⅲ 労働組合法を制定し、労働者の団結権・団体交渉権・争議権を保障した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ
- ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ
- ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ
- ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ
- ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

〔語群〕

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| ア 検非違使  | イ 京都所司代 | ウ 菅原道真  | エ 立憲政友会 |
| オ 政所執事  | カ 周防    | キ 京都町奉行 | ク 長崎    |
| ケ 京都守護職 | コ 松岡洋右  | サ 管領    | シ 大宰権帥  |
| ス 寺内正毅  | セ 原敬    | ソ 源高明   | タ 徳川家定  |
| チ 徳川家斉  | ツ 大納言   | テ 勘解由使  | ト 平戸    |
| ナ 美濃    | ニ 幣原喜重郎 | ヌ 憲政会   | ネ 大隈重信  |
| ノ 太政大臣  | ハ 小村寿太郎 | ヒ 足利直義  | フ 足利義政  |
| ヘ 徳川家茂  | ホ 侍所所司  | マ 播磨    | ミ 政友本党  |
| ム 蔵人頭   | メ 足利義持  | モ 下田    | ヤ 伴善男   |



**第2問** 次の文章 (A～C) を読み、下の問い (問1～8) に答えよ。

A 日本で本格的かつ継続的に貨幣が大量に鑄造されたのは、8世紀初めの<sup>Ⓐ</sup>和同開珎の鑄造・発行が最初である。朝廷による貨幣鑄造の最大の目的は、造営の経費を調達するなど財源の不足を補うことであったが、平安時代に廃絶した。

12世紀、宋が北方の女真人の建てたに圧迫されて南に移って以降、貿易がさかんになり、銭貨が多く輸入された。その結果、次第に中国銭の使用が広がった。鎌倉時代後期には年貢の銭納が普及し、<sup>Ⓑ</sup>室町時代にはさまざまな負担が銭貨で納められるようになった。しかし、戦国時代には民間で模造された私鑄銭が増加して、次第に商品取引が混乱した。

問1 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー平城京 イー金      ② アー平城京 イー清  
③ アー藤原京 イー金      ④ アー藤原京 イー清

問2 下線部<sup>Ⓐ</sup>に関連して、和同開珎が鑄造・発行されて以降の出来事などに関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 舎人親王を中心として、『日本書紀』が編纂された。  
② 陸奥国に多賀城が築かれ、国府と鎮守府がおかれた。  
③ 口分田の不足を補うため、三世一身法が制定された。  
④ 初めての遣唐使として、犬上御田歙らが派遣された。

問3 下線部<sup>Ⓑ</sup>に関して、室町幕府によって課せられた税について述べた次の文Ⅰ・Ⅱと、それに関連する下の語句 a～d の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 交通の要地で、商人など往来する人々から通行税を徴収した。  
Ⅱ 京都の市中や郊外で高利貸を営む業者から営業税を徴収した。

a 段銭      b 関銭      c 土倉役      d 助郷役

- ① Ⅰ－a Ⅱ－c      ② Ⅰ－a Ⅱ－d  
③ Ⅰ－b Ⅱ－c      ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

**B** 江戸幕府は全国で通用する貨幣を発行する権限を握り、金座や銀座、銭座に鑄造を委託したうえで金貨、銀貨、銭貨という3種類の貨幣を発行した。しかし、それらは③共通の貨幣単位をもたず、貨幣としての性格も異なっていた。

18世紀後半以降、幕府は金銀通貨の一本化をはかったものの完全には実現しなかった。そのため、幕末開港期には④欧米との間で金銀の交換比率に違いがあったことから、大きな問題が生じることになった。

**問4** 下線部③に関して、代表的な金貨・銀貨である次のⅠ・Ⅱと、それに関して述べた下の文 a～d の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 29

Ⅰ 小判      Ⅱ 丁銀

- a 1枚で1両として通用した。
- b 1枚で1匁として通用した。
- c 重量をはかって取り引きされた。
- d 額面に価格が表示されていた。

- ① Ⅰ－a Ⅱ－c      ② Ⅰ－a Ⅱ－d
- ③ Ⅰ－b Ⅱ－c      ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

**問5** 下線部④に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

- Ⅰ 日本では金銀の交換比率が1：15であり、欧米に比べて金高であった。
- Ⅱ 欧米の商人が外国銀貨を持ち込んで金貨と交換したため、多量の金貨が流出した。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正      ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正      ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

C 明治政府は1871年、を定めて十進法による「円・銭・厘」という新しい貨幣単位を導入した。政府は翌年、紙幣の統一をはかるため国立銀行条例を定めたが、実現しなかった。紙幣の統一が実現したのは<sup>e</sup>1882年、日本銀行が設立されて紙幣発行権を集中して以降のことである。1885年から日本銀行兌換銀券が発行され始めた。

政府は欧米諸国とのあいだでの外国為替相場を安定させるため、1897年、金本位制に参入した。しかし、毎年のように貿易赤字が続いて金本位制を維持することが困難になり、1931年に内閣が金輸出再禁止して以降、金本位制を離脱した。外国為替相場の安定を再び確保できたのは、第二次世界大戦後の1949年、<sup>f</sup>ドッジ＝ラインによりブレトン＝ウッズ体制に組み込まれてからである。

問6 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウー貨幣法 エー高橋是清
- ② ウー貨幣法 エー犬養毅
- ③ ウー新貨条例 エー高橋是清
- ④ ウー新貨条例 エー犬養毅

問7 下線部<sup>e</sup>に関連して、1880年代前半に政府が行った財政政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 軍事費を除き、財政支出を緊縮した。
- ② 歳入の余剰を使って紙幣整理を進めた。
- ③ 官営事業の払下げを促進した。
- ④ 地租改正を行って財政基盤を整えた。

問8 下線部<sup>f</sup>について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 復興金融金庫を通じて、電力・海運など基幹産業に多額の資金を与えた。
- ② 傾斜生産方式を採用し、石炭・鉄鋼の復興を優先した。
- ③ 1ドル＝360円の単一為替レートを設定した。
- ④ 国民所得を10年間で倍増させる計画を発表した。

**第3問** 次の①～⑤は古代から現代までの用語・出来事であるが、最も関係の深い場所を、下の地図中のア～タのうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- |           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| ① 藤原京     | <input type="text" value="34"/> |
| ② 浅間山大噴火  | <input type="text" value="35"/> |
| ③ 島原の乱    | <input type="text" value="36"/> |
| ④ 秋月の乱    | <input type="text" value="37"/> |
| ⑤ 四日市ぜんそく | <input type="text" value="38"/> |



**第4問** 次の文章 (A～C) を読み、下の問い (問1～7) に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

**A** 物語は、古くは神話や伝承を語り継ぐ行為として存在しており、それを文字にして記録したものに<sup>a</sup>『古事記』がある。<sup>b</sup>平安時代後期から室町時代にかけて数多く編纂された説話集や軍記物語の多くも、僧侶や僧形の人々による語りをもとに成立した。

**問1** 下線部<sup>a</sup>に関して、次の史料は『古事記』の序文である。この内容について述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 39

是に、天皇 (注1) 詔りたまひしく、「朕聞く、諸家の所費<sup>も</sup>てる帝紀 (注2) と本辞 (注3) と、既に正実に違ひ、多く虚偽を加ふ。…… (中略) ……故、惟に帝紀を撰<sup>こ</sup>び録し、旧辞を討<sup>たず</sup>ね竅<sup>きわ</sup>め (注4)、偽を削り実を定め、後葉に流<sup>つた</sup>へむと欲ふ」と。…… (中略) ……即ち、阿礼 (注5) に勅語して、帝皇の日継と先代の旧辞とを誦<sup>よみ</sup>習はしめたまひき。……  
焉<sup>こ</sup>に、旧辞の誤<sup>あや</sup>忤<sup>まり</sup>たるを惜しみ、先紀の謬<sup>あや</sup>錯<sup>まじ</sup>れるを正さむとし、和銅四 (711) 年九月十八日に、臣安万侶に詔して、稗田阿礼が所誦<sup>よみ</sup>る勅語の旧辞を撰<sup>こ</sup>び録して献上らしむといへり。

(注1) 天皇：ここでは天武天皇を指す。

(注2) 帝紀：「帝皇の日継」と同じで、歴代天皇の系譜のこと。

(注3) 本辞：「旧辞」と同じで、伝承のこと。

(注4) 討ね竅め：よく調べ正すこと。

(注5) 阿礼：「稗田阿礼」のこと。

- ① 天武天皇は、諸豪族が伝える帝紀や旧辞に誤りがあると考えていた。
- ② 天武天皇は、帝紀や旧辞の誤りを正し、稗田阿礼に暗誦させた。
- ③ 天武天皇は、太安万侶に稗田阿礼が暗誦した内容を書き記すことを命じた。
- ④ 太安万侶は、稗田阿礼の暗誦した内容を書き上げて元明天皇に献上した。

**問2** 下線部<sup>b</sup>に関して、平安時代後期から室町時代にかけて編纂された説話集や軍記物語について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 40

- ① 薬師寺の僧景戒が仏教説話を集めて『日本霊異記』を編纂した。
- ② 『今昔物語集』には、仏教説話以外に民間の説話も収められている。
- ③ 『平家物語』の内容は、三味線を伴奏として語り広められた。
- ④ 『太平記』は、盲目の琵琶法師によって各地で語られた。

B 室町・戦国時代から木版印刷で書籍を出版する動きが広がった。室町幕府の保護を受けた五山の□ア寺院では経典や漢詩文集などの出版がさかんで、戦国時代には貿易で栄えた大内氏の城下町山口、港町堺などでも出版事業が行われた。

豊臣政権期にはイエズス会の□イが活字印刷機を伝え、ローマ字でヨーロッパの文学や日本の古典、日本語辞書などが出版された。江戸時代には印刷技術や紙の生産が発展したことを背景として、㉞木版印刷による出版が広がり、幅広い階層の人々に受け入れられた。

問3 空欄□ア・□イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 □41

- ① アー日蓮宗 イーフランシスコ＝ザビエル
- ② アー日蓮宗 イーヴァリニャーニ
- ③ アー禅宗 イーフランシスコ＝ザビエル
- ④ アー禅宗 イーヴァリニャーニ

問4 下線部㉞に関連して、木版印刷による出版について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 □42

- Ⅰ 洒落本『仕懸文庫』を書いた山東京伝が、幕府により処罰された。
- Ⅱ アメリカ使節ペリー一行の様子は、瓦版によって人々に伝えられた。
- Ⅲ 井原西鶴が、浮世草子の第一作として『好色一代男』を著した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

C 明治時代初期、本木昌造が本格的な鉛製活字の量産に成功したことを背景として活版印刷が発展すると、④ 日刊新聞や雑誌が続々と創刊され、世論形成の重要な要素となっていた。一方、⑤ 大新聞・雑誌はそれぞれ専属の文芸担当者を持ち、文学の育成と普及に貢献した。

大正時代以降、経済発達を背景として俸給生活者（サラリーマン）などの新中間層が形成されるなか、新聞が発行部数を拡大した。また娯楽中心の大衆雑誌や週刊誌なども創刊され、⑥ 大衆文化が成立した。

問5 下線部④に関連して、1870年代から1880年代にかけての日刊新聞・雑誌での政治的な議論や政府による規制に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 43

- a 開拓使官有物払下げ事件をめぐる、政府批判が高まった。
- b 日露講和条約の内容をめぐる、政府批判が高まった。
- c 政府は新聞紙条例を定め、言論を取り締まった。
- d 政府は治安警察法を定め、言論を取り締まった。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問6 下線部⑤に関して、明治・大正期に新聞で小説を発表・連載して人気を博した人物について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 44

- ① 尾崎紅葉は写実主義の立場にたち、『金色夜叉』を連載した。
- ② 小林多喜二は自然主義の立場にたち、『蟹工船』を発表した。
- ③ 夏目漱石は『こころ』を連載し、人間のエゴイズムと倫理との葛藤を描いた。
- ④ 森鷗外は漢文調を基調とした文体で、歴史小説を発表した。

問7 下線部①に関連して、大正期から昭和戦後期にかけて活躍した次の作家Ⅰ・Ⅱと、それに関連する下の説明a～dの組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

45

Ⅰ 中里介山      Ⅱ 松本清張

- a 江戸幕末期を舞台とした『大菩薩峠』を著した。
- b 言文一致体の小説『浮雲』を発表した。
- c 捕虜となった自らの戦争体験を描いた。
- d 社会派推理小説の分野を確立した。

- ① Ⅰ－a   Ⅱ－c      ② Ⅰ－a   Ⅱ－d
- ③ Ⅰ－b   Ⅱ－c      ④ Ⅰ－b   Ⅱ－d

(日本史の問題は終わり)